

第3章 結果の考察

1. 結果の考察

企画政策部企画政策課

今回の調査は、平塚市民の居留意向、生活の満足感、まちづくりに対する満足度や重要度に対する意識を調査し、今後、まちづくりを進めていくための基礎資料を得るとともに、平成19年度からスタートした「平塚市総合計画 生活快適・夢プラン」に基づき実施している本市のまちづくりに対して市民がどのように感じ、それぞれの基本目標をどう評価しているかを把握することを目的として実施しました。

このアンケートの結果により、次のことが明らかになりました。

■【1】あなたの今後における平塚市への居留意向などについて（問1）～（問4）

【平塚市の居留意向は8割以上。住み続けたい理由は「温暖な気候や自然環境」が上位】

『今後の平塚市への居留意向』を質問した結果、86.5%の方が「住み続ける」または「たぶん住み続ける」と回答しました。

年代別でみると、年代が上がるにつれて居留意向が高くなる傾向にあります。

また、その住み続けようと思う理由としては「温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が6割程度となっています。多少の順位の違いはありますが、どの年代、地区においても上位になっており、平塚市の居留意向につながる大きな要素となっています。

一方、「移転する」または「たぶん移転する」と回答した転居意向の方は6.5%でした。その理由としては「仕事や学校へ通うのに都合がよくない」が最も多く、次いで「家族の都合で」「買い物がつらい」となっています。

移転意向は10代、20代で高く、それぞれの理由の1位も「仕事や学校へ通うのに都合がよくない」であることから、進学や就職のために市外へ転居することが多いことが推測できます。

最後に居留意向とは別に『平塚市の魅力や誇りに感じる点』を伺ったところ、「総合公園など施設の充実した規模の大きな公園」が42.7%となり、2位の「災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」の26.3%を大きく離し、支持を得ています。

■【2】生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて（問5）～（問7）

【現在の生活に満足している方は6割以上。ただし、自分の老後については心配要素が多い】

『生活の満足度』は「満足している」または「まあ満足している」と回答した方は65.8%でした。この割合は10代が最も高く、40代が最も低くなっています。

また、「やや不満である」または「不満である」と回答した方の割合は、30代（17.7%）が最も高く、次いで40代（16.9%）、20代（16.7%）となっています。この年代の困っていることや心配ごとの第1位は「今後の収入や資産の見通し」であることから、回答者自身の将来における収入に不安を抱いていることが理由として考えられます。

また、『悩みや不安を話せる人』について質問したところ、8割弱の方が「家族・親族」、次いで5割以上の方が「友人」に話せると回答しています。一方、「話せる人がいない」と回答している方はどの年代においても約5～6%おり、一人暮らしの方がこのように回答する割合が高くなっています。

■【3】地域のために、地域（あなた）ができることについて（問8）～（問10）

【地域で取り組むとよいと思うことは「地域で困っている人を支え合うこと」。実際の地域への関わりはまだ少ない】

住みよい地域にするためには、地域の方の関わりが必要であることから、『地域で取り組むとよいと思うこと』、『実際に地域のために行っていること』、『行えること（してみたいこと）』について伺いました。

まず、地域で取り組むとよいと思うことは、割合が高い順に「高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」、「防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」、「子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること」となっています。

またその上で、『実際に行っていること』について伺ったところ、「特にない」と回答した方が4割弱と最も多く、実際に地域のために何かを行っているという方は、それほど多くはないようです。

最後に、『現在行っていないことで、今後できること（またはしてみたいこと）』について伺ったところ、「災害時における住民の助け合い活動」が3割を超え、最も高くなりました。

平成23年3月の東日本大震災や今後の発生が危惧されている大地震を理由とし、災害に対する関心の高さが表れていると考えられます。

■【4】まちづくりの状況について（問11）

○基本目標の重要度・満足度について

「平塚市総合計画 生活快適・夢プラン」に基づき実施している本市のまちづくりに対して市民がどのように感じ、それぞれの基本目標をどう評価しているかを把握するための質問です。

平成23年度の住民実態調査において、同様の質問を行いました。今回は各基本目標ごとに次のようなグループ名を付けて伺っています。

- 基本目標1：《学校教育・生涯学習・交流》（問11-1～7）
- 基本目標2：《地域づくり・子育て・福祉》（問11-8～15）
- 基本目標3：《環境・都市基盤》（問11-16～21）
- 基本目標4：《産業》（問11-22～30）
- 基本目標5：《安全・快適・行政》（問11-31～40）

（満足度について）

各基本目標において、「大変満足」と「満足」を合わせた割合は、各基本目標とも3割を超えていません。満足度の順位としては前回同様、「基本目標3」が最も高く、前回調査と比較して3.6ポイント増加しています。また、「基本目標4」は0.8ポイント増加しているものの、「基本目標1」が0.6ポイント、「基本目標2」が2.1ポイント、「基本目標5」が1.0ポイントそれぞれ下がっていることから、これらの分野については更に充実した施策の展開が求められます。

（重要度について）

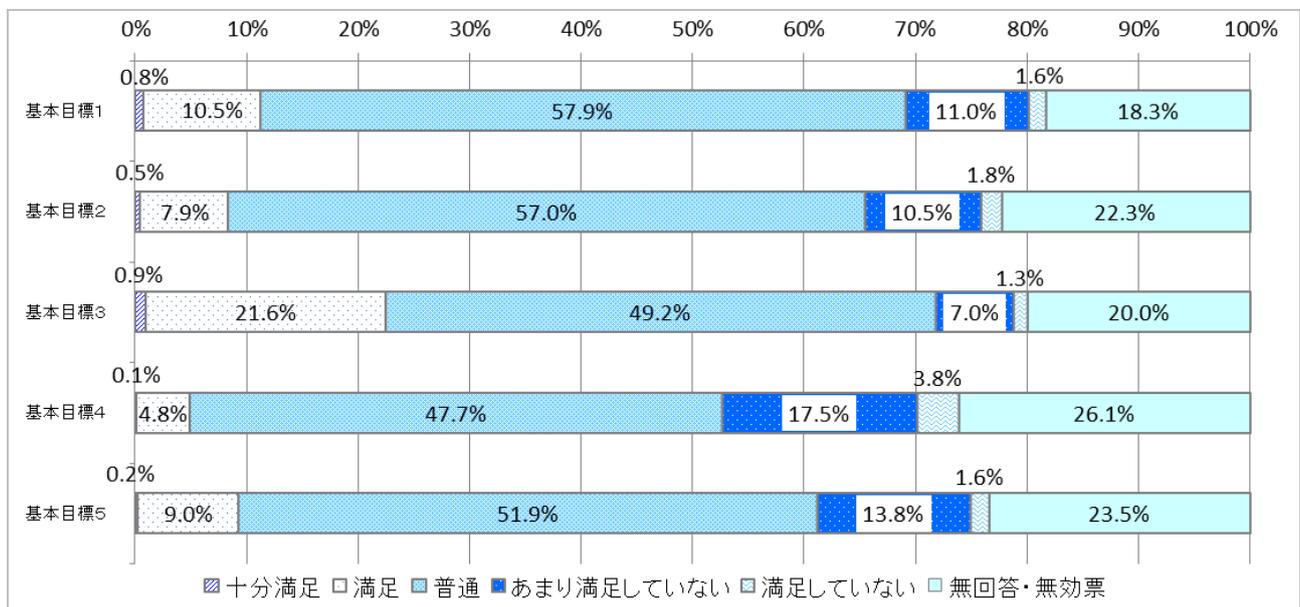
重要度については全ての基本目標で下がっていますが、未回答が多かったことによるものだと考えられます。

重要度の順位は、前回同様1位が「基本目標5」、2位が「基本目標2」となっていることから、引き続き安心して暮らせるための施策が望まれていることが推測されます。

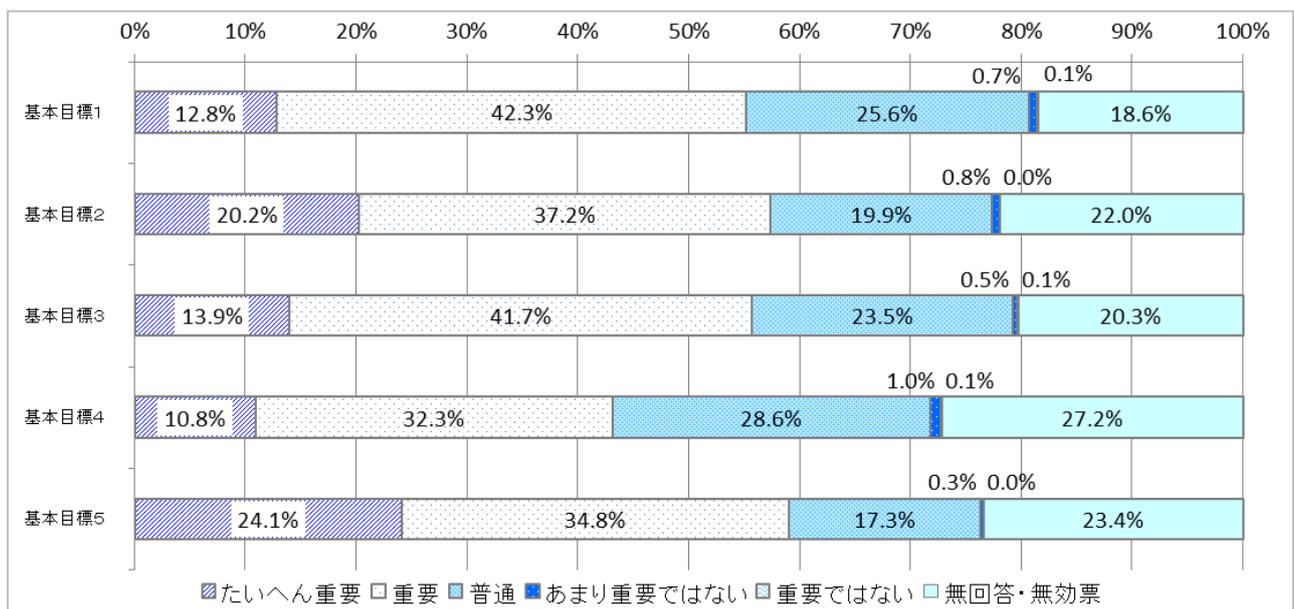
基本目標	満足度※ ¹				重要度※ ²			
	今回調査		前回調査		今回調査		前回調査	
1 教育や交流	11.3%	②	11.9%	②	55.1%	④	63.5%	⑤
2 安心した暮らし	8.4%	④	10.5%	③	57.4%	②	77.2%	②
3 やすらげる環境	22.5%	①	18.9%	①	55.6%	③	72.8%	③
4 活力としての産業	4.9%	⑤	4.1%	⑤	43.1%	⑤	66.5%	④
5 安全・快適な暮らし	9.2%	③	10.2%	④	58.9%	①	78.1%	①

※1 「十分満足」と「満足」を合わせた割合
 ※2 「たいへん重要」と「重要」を合わせた割合
 ※3 ○付数字は順位

【参考】満足度の結果



【参考】重要度の結果



○基本目標1について

学校教育・生涯学習・交流などの「基本目標1」の満足度については、『スポーツ施設や各種生涯学習施設や機会が充実している』などの意見もあり、前回同様に文化・スポーツや生涯学習の関係については満足度が高めです。一方、国際交流や外国籍市民との交流などは『外国籍市民との交流機会が少ない』との意見があるように低くなっています。

また、重要度については、『市民全員が必要だとは思えない』との意見もあり、重要度は4番目ですが、『子どもたちが元気に勉強、運動できる環境が一番』、『どのような分野も、教育なくして発展はない』などの意見から青少年や学校教育に関する項目が前回と同様に高くなっており、教育の分野で更なる施策の推進が求められていることが分かります。

○基本目標2について

地域づくり・子育て・福祉などの「基本目標2」の満足度については、『自身の子どもが待機児童となっている』、『障がい者・高齢者が安心して暮らせるような環境が不十分』、『地域格差がある』などの意見があるように、満足度は4番目となっています。

保健・医療の項目については、『夜間救急などの受け入れ態勢が整ってきた』、『保健センターの施設などを見ると努力は払われている』などの意見もあり、満足度はやや高めになっています。

また、重要度については、前回と同様に2番目であり、『安心して子育てができること、高齢者医療が充実していることは、住むために大きな魅力となる』、『保健・医療体制は高齢社会に対応できるようにすることが大切』などの意見があります。

○基本目標3について

環境・都市基盤など「基本目標3」に対する満足度については、『どこに行っても緑がある』、『リサイクルの取り組みは誇れるものである』などの意見があるように、全基本目標の中で1番となっています。なかでも、平塚市の魅力や誇りで一番にあがっていた総合公園などの大規模公園の関係の満足度は4割を超え、全項目中のトップです。平塚市の魅力として維持していくことが望まれています。

重要度については、『気持ちよく暮らせる地域社会の基本』、『下水道や河川、排水路については災害に向けて整備が必要』との意見がある一方、『一定の生活環境が整っていればよい』、『他の面との優先度を考えれば低くなる』との意見があるように、全基本目標の中で3番目となっています。

○基本目標4について

産業に関する「基本目標4」の満足度については、前回同様、全基本目標の中でもっとも低い数値で5番目となっています。『新鮮な魚や野菜が手に入る』、『子どもたちが平塚産の野菜を意識して食べられるので良い』などの肯定的な意見がある一方、商業面での『平塚駅周辺の魅力が衰えているように感じる』、『近隣の駅前と比べて、魅力を感じさせない』という意見が多くあることに加え、『どの産業も魅力を感じさせない』という意見があります。

重要度については、『産業は地域の生命線である』などの意見があるように重要と考えられているのに対し、『他のことが優先』、『普通』と感じている割合が多く、全基本目標の中で5番目となっています。

○基本目標5について

安全・快適・行政に着目した「基本目標5」の満足度については、前回より若干ポイントは下がっているものの、順位としては1つ上がり、全基本目標の中で3番目となっています。

『救急体制に満足している』という意見があるように、消防・救急体制に関する項目への満足度は高めですが、『災害が起きた時が不安』という意見も多くあります。

重要度については、こちらも前回と同様に1位であり、各項目を見ると災害時に関する項目において、特に重要度が高いことから、更なる施策の展開が求められています。